

日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

No.49

目次

・報告 パネルディスカッション：高年齢者のART治療後の次世代養育の現状と課題	1
・第16回学術集会のご案内	3
・これから行われる学会・研修会等のお知らせ（H30.3～6月）	4
・研究助成のお知らせ	5
・生殖看護実践セミナー開催案内	6
・勉強会の支援と助成	7
・選挙の告示	8
・理事会報告	8
・事務局からのお知らせ	8
・編集後記	8



報告

「パネルディスカッション：高年齢者のART治療後の次世代養育の現状と課題」

於 第20回日本IVF学会学術集会

日本生殖看護学会理事長 野澤美江子

将来検討委員会委員長 上澤悦子

昨年に引き続き、日本IVF学会学術集会（大会長 吉田仁秋先生）での共催企画：パネルディスカッション「高年齢者のART治療後の次世代養育の現状と課題」をテーマに、2017年9月30日（土）、16：30～18：30に、仙台市ホテルメトロポリタン仙台で開催しましたので、報告いたします。

<パネルディスカッションの趣旨>

ART治療者は高齢化の傾向が著しく、2015年の総治療周期数424,151件中、40歳以上の総治療周期数は184,244件（43.4%）となり、2014年との比較では1.2%増加し、8,873人（17.8%：対総ART出生数）の子どもが出生しています。さらに、45歳以上では164人（3%：対総ART出生数）の子どもが出生しています（2015年ARTデータブック 日本産科婦人科学会）。高齢妊娠では、妊娠高血圧症候群や子宮筋腫などの合併症妊娠の増加による子宮内発育不全や早産のリスクが高くなり、その結果、低出生体重児の増加や分娩時は難産や帝王切開率の増加など分娩時のリスクも増加します。また加齢による先天異常児の増加、母乳分泌低下、産後うつなど、産後の育児にも広範かつ重大な影響を及ぼします。

これらの背景から、現在の生殖医療の特徴である高年齢でのART治療後の子ども養育の現状と課題を明らかにし、改めて生殖看護の役割を問い直す機会になればと考えました。

＜パネルディスカッション講演要旨＞

1. 「高齢母親を対象としたART治療中から治療後の妊娠までの継続的支援」

東邦大学医療センター佐倉病院 看護師長、不妊症看護認定看護師 勝又由美氏

不妊治療患者の高年齢化による様々な課題を抱えた治療後妊産婦が増加している現状から「ART治療中から合併症予防を視野に入れた健康管理」、「出生前診断への意思決定支援」「不妊治療歴を特別視しない出産後育児までの継続的な支援」、「第2子希望者への支援」について、外来・病棟を一ユニットとする継続的管理体制と不妊症看護CNの具体的内容を報告されました。

2. 「高齢出産の母親への社会的支援の実際と課題」

京都第一赤十字病院、認定医療社会福祉士 藤原久子氏

NICU退院支援を専従で行うMSWの活動内容における事例を紹介しつつ、希望すれば疾病や合併症の有無に関係なく受けることが可能なARTの課題を提示されました。京都での児童虐待未然防止連携事業である産後ショートステイやディケア事業であるスマイル・ホットケアなどの子育て世代地域包括ケア活動の実際を事例を通して報告されました。

3. 「医療在宅医療ケアが必要なハイリスク児の退院支援の実際と課題」

社会医療法人愛仁会 高槻病院 小児看護専門看護師 橋倉尚美氏

在宅医療処置が必要な子どもが増加しており、親のイメージする子ども像からの乖離がある場合、在宅への受け入れが進まず、退院調整が難渋します。しかし、これらの問題を克服せず強引に在宅移行を進めた場合、子ども虐待など新たな問題へと発展するため、まず、親が「子どもを可愛いと思えない」気持ちを受容すること、時間をかけた医療的ケア技術支援が家族には必要であった事例を報告されました。

上記3名のパネルディスカッションを終えたアンケート結果では、6割の参加者が「とても良かった」と評価され、主な感想では、「ART治療後の様々な課題を考える機会となり、多職種が連携して継続的に支援する必要性を強く感じた」、「実際の事例とその取り組み（支援）発表がとても参考になった」というご意見が挙がっていました。生殖医療や看護に携わっている医療職にぜひとも聴いてほしい充実した内容でしたが、参加者が二十数名と少なく残念でした。今回のパネラーの選出も地元（仙台を中心とした東北地方）では難しく、遠方から来ていただくこととなり、その旅費の負担が大きかったことと、本学会員としての参加者が少なく参加費収入が少なかったため、学会からの持ち出し額が増えるという残念な結果でした。

新潟での本会学術集会で会員は特別割引で参加できることを案内しましたが、十分な参加数を得ることができませんでした。次年度の開催においては、共催への課題は大きく、従来共催は難しいとの理事会判断があったことをお知らせします。



座長を務められたスズキ記念病院不妊症看護CNの濱田結実氏と3名のパネラーとともに

第16回日本生殖看護学会学術集会のご案内

日 時：2018年9月9日（日）

場 所：アクロス福岡 国際会議場（4階）

今回のメインテーマは、「治療と仕事の両立支援－女性が輝き続けるために－」です。治療と仕事の両立の困難さについて、患者様から訴えられることは少なくありません。その両立支援のあり方について、様々な視点から皆さまと考える機会にしたいと思います。11年ぶりに福岡へ多くの皆さまがお集まりくださることを楽しみにしております。

（学術集会長 實崎 美奈）

●学術集会プログラム（予告なく変更となる場合がございます）

9：00～ 受付開始

9：30～ 開会 会長講演

10：00～ 一般口演

11：30～ 特別講演 「看護職のワーク・ライフ・バランス：子どもを持つことを支援するとは」
福井 トシ子 氏（日本看護協会 会長）

12：30～ ランチョンセミナー 宇津宮 隆史 氏（医療法人セント・ルカ産婦人科 院長）

13：30～ 総会

14：30～ シンポジウム「治療と仕事の両立支援を考える」

16：30 閉会

●学術集会参加費

事前登録：会員5,000円／非会員6,000円／学生（大学院生・研修生は除く）1,000円

・事前登録申し込み締切日：2018年8月15日（水）

※同封の払込取扱票をご利用ください。

当日参加：会員6,000円／非会員7,000円／学生（大学院生・研修生は除く）1,000円

●一般演題募集

演題申し込み締切日：2018年4月20日（金）

抄録申し込み締切日：2018年5月14日（月）

●お問い合わせ先

第16回日本生殖看護学会学術集会事務局

産業医科大学 産業保健学部 広域・発達看護学講座

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

E-mail：office@jsfn16.jp

●学術集会HPアドレス <http://www.jsfn16.jp>



* 事前登録のお申し込みや参加費の納入、演題のお申し込み等の詳細につきましては、
第16回日本生殖看護学会学術集会HPをご覧ください。

これから行われる学術集会・研修会情報 (2018年3月～6月)

月	日	学会・研修会名	会 場	学会 HP / 運営事務局
3月	3日(土) ～ 4日(日)	日本助産学会学術集会 (第32回) 母子と女性を守る助産の知と技、 そして連携	パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)	学会 HP : http://www.mtoyou.jp/jam32/ 第32回日本助産学会学術集会運営事務局 株式会社メディカル東友 コンベンション 事業部 〒243-0012 神奈川県厚木幸町9-10 第2ファームビル2階 TEL : 046-220-1705 / FAX : 046-220-1706 E-mail : jam32@mtoyou.jp
5月	10日(木) ～ 13日(日)	日本産科婦人科学会学術講演会 (第70回)	仙台国際センター、 東北大学百周年記念 会館川内萩ホール (宮城県仙台市)	学会 HP : http://jsog.umin.ac.jp/70/index70.html 第70回日本産科婦人科学会学術講演会 運営事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町パークサイドビル402 株式会社 MA コンベンションコンサル ティング内 TEL : 03-5275-1191 / FAX : 03-5275-1192 E-mail : jsog70@macc.jp 第70回学術講演会プログラム委員会事務局 〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学大学院医学系研究科産科婦人 科学教室 TEL : 022-717-7254 / FAX : 022-717-7258 E-mail : jsog70@ob-gy.med.tohoku.ac.jp
6月	1日(金)	日本不妊カウンセリング学会 総会学術集会 (第17回) 培養を伝える	ニッショーホール (東京都港区)	学会 HP : https://www.jsinf.com/user_data/17th_meeting.php
	22日(金) ～ 24日(日)	日本保健医療行動科学会学術大会 (第33回) 健康でつながる調和的な ライフに向けて - 行動変容へのホリスティック・ アプローチ -	沖縄県男女共同参画 センター ているる (沖縄県那覇市)	学会 HP : http://www.jahbs.info/taikai33.html 第33回日本保健医療行動科学会学術 大会実行委員会事務局 <連絡先> 電子メールアドレス : 33jahbs@gmail.com
	23日(土) ～ 24日(日)	日本母性看護学会学術集会 (第20回) ウイメンズヘルスを支える 多職種連携の実践	埼玉県立大学 (埼玉県越谷市)	学会 HP : http://bosei20.umin.jp/ 第20回 日本母性看護学会学術集会事務局 埼玉県立大学内 事務局長 : 大月 恵理子 〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820 TEL/FAX : 048-973-4175 E-mail : rh-spu@spu.ac.jp

平成30年度 研究助成のお知らせ

会員の皆様の研究活動支援として研究助成制度を設けています。

詳細および申請書類につきましては学会ホームページ (<http://jsin.umin.jp/>) をご参照ください。

応募は平成30年4月1日～6月30日の間に受け付けております。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

研究助成募集要項

【研究助成の趣旨】

生殖看護の実践に関する調査・研究を支援するために、会員を対象とし、研究費を助成し、生殖看護の発展を図ることを目的とする。

【助成の対象】

個人又は共同の研究者を対象とする。

【応募資格】

1. 研究代表者は会員であって、会員歴2年以上である者。
2. 共同研究者は、申請時に本学会会員である者。

【助成金】

研究助成金は研究計画一編につき10万円を限度とし、当該年度の研究助成は2件までとする。

【研究助成期間】

平成30年9月1日～平成31年8月31日までの1年間とする。

【応募方法】

1. 学会所定の研究助成申請書に必要事項を記載し、2部（正1部、副1部）を下記担当者宛に「研究助成申請書類在中」と朱書きし、書留で送付する。申請書類は返却しない。
2. 応募受付期間：平成30年4月1日(日)～6月30日(土)

【選考及び助成の決定】

研究助成審査会において選考審査の上、平成30年8月下旬に応募者に通知する。選考に関する問い合わせには応じられない。

【助成金の使途】

研究活動に必要な物品費、旅費、通信・運搬費、印刷費などを含む。

【研究期間】

研究期間は承認の日から1年以内とし、延長する場合や継続する場合は、年度毎に改めて申請を行い選考する。ただし、継続申請は2年を超えることはできない。

【研究成果の報告】

1. 助成を受けた者は研究が終了後、すみやかにその結果を理事長に報告する。
2. 研究成果は2年以内に日本生殖看護学会で発表し、さらに日本生殖看護学会誌に投稿する。
3. 研究成果を他に発表する場合には、日本生殖看護学会の研究助成を受けたことを明記する

<お問い合わせ・申請書類送り先>

日本生殖看護学会将来検討委員長：上澤悦子

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34 京都橘大学看護学部

e-mail : kamisawa@tachibana-u.ac.jp TEL : 075-574-4249 (直)

研究支援個別相談会 開催のお知らせ (日本生殖看護学会将来検討委員会)

研究計画と実施、抄録や論文の書き方、パワーポイントの作成など、生殖看護に関する研究を考えておられる会員の皆様を対象に、関東と関西で2回の個別相談を行います。

テーマ：会員のための研究支援個別相談会 -実践報告や研究発表の個別相談に応じます-

講師：日本生殖看護学会将来検討委員および理事

日時と場所：第1回 2017年12月2日(土) 聖路加国際大学

第2回 2018年3月17日(土) 10時～14時 京都橘大学清優館103室 (京都市山科区大宅山田町34)

参加費：1000円 定員：各4～5名(先着)

申し込み方法：氏名、所属、会員番号、連絡先電話、メールアドレス、簡単な相談内容を明記の上、以下の日時までにメールで申込みください。第2回参加希望者は3月12日(月)まで

申し込み先・問い合わせ先：

日本生殖看護学会将来検討委員長：上澤悦子

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34 京都橘大学看護学部

e-mail : kamisawa@tachibana-u.ac.jp TEL : 075-574-4249 (直)

第1回はすでに終了しました。
お一人だけの参加でしたが、研究
実施につながりました。
第2回は京都で初めて開催します。

第13回 生殖看護実践セミナー開催のお知らせ

テーマ：不妊治療と心のケアにおける多職種連携

目的：心理学を専門とする専門職の方々から不妊女性へのアプローチの特徴について講義を受け、日常の心理ケアや多職種連携のあり方について皆様と共に考えたいと思います。

日時：平成30年7月28日(土) 13:30~16:00

場所：幕張メッセ 国際会議室

参加者：会員：無料

非会員：1,000円（定員80名、先着順）

スケジュール：

13:10~13:30	受付
13:30~13:40	オリエンテーション、挨拶
13:40~14:20	講演1 講師：小倉 智子先生（生殖心理カウンセラー／臨床心理士）
14:20~15:00	講演2 講師：二宮 美香先生（リエゾン精神看護専門看護師 日本医科大学武蔵小杉病院）
15:00~15:10	休憩
15:10~15:45	全体ディスカッション・質疑応答
15:45~16:00	まとめ、セミナー評価アンケート記入

申し込み方法：

お名前、ご所属、連絡先、会員の方は会員番号を明記の上、下記宛にメール又はFAXでお申し込みください。**締め切りは7月13日(金)まで。**

FAX用紙は、学会ホームページよりダウンロードできます。

【セミナーお申込み・お問い合わせ先】

日本生殖看護学会教育推進委員会 担当：青柳優子（順天堂大学医療看護学部）

E-mail：jsfn.edu@gmail.com

FAX：047-350-0654 TEL：047-355-3111(代)

各地区で開催する勉強会の支援

教育推進委員会では、会員が主催する各地区の勉強会を支援したいと考えております。初めて企画を担当される方、あるいは自分たちの地区でもぜひ勉強会を開催したいけれどどうしたらよいかわからない…等、お気軽にご相談ください。勉強会を企画されている代表者の方は、開催日時、開催場所、テーマあるいは内容、連絡先（住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス）等を下記の連絡先までご連絡下さい。また、日本生殖看護学会ホームページには、勉強会の企画に関する資料が掲載されています。日本生殖看護学会のニュースレターやホームページにも広報を掲載することが出来ます。資料を参考になさってください。

勉強会等の運営費の助成

生殖看護の実践に関する勉強会を支援するために、勉強会等の運営費を助成します。助成金は企画1件につき1万円、当該年度の助成は3件までです。日本生殖看護学会ホームページに、応募資格や応募方法等が掲載されていますので、ご覧ください。また、助成に関してご意見等がありましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

【勉強会に関する連絡先】 教育推進委員会 担当理事 順天堂大学医療看護学部 青柳優子

E-mail : jsfn.edu@gmail.com

電話 : 047-350-3051 Fax : 047-350-0654

日本生殖看護学勉強会等助成要項

【助成の趣旨】

日本生殖看護学会員による生殖看護の実践に関する勉強会を支援するために、勉強会等運営費を助成し、日本生殖看護学会員サービスに寄与し、生殖看護の発展を図ることを目的とする。

【助成の対象】

会員個人または共同で開催する勉強会等企画者を対象とする。

【応募資格】

1. 勉強会企画代表者は会員であって、会員歴2年以上である者。
2. 共同で企画する場合は、代表者以外の共同企画者も勉強会開催時に本学会会員である者。
3. 勉強会予算案を日本生殖看護学会員と非会員の参加費に格差をつけ、作成していること。

【助成金】

助成金は勉強会の企画1件につき1万円を限度とし、当該年度の助成は3件までとする。

【助成期間】

平成29年9月1日～平成30年8月31日までの約1年間とする。

【応募方法】

1. 学会所定の勉強会助成申請書に必要事項を記載し、1部を学会教育推進委員会宛にメールで申請する。
メールの件名は「日本生殖看護学会勉強会助成申請」とする。
2. 応募受付期間：平成29年9月1日～平成30年6月30日、ただし、勉強会開催の2か月前までに応募する。
3. 申込先：日本生殖看護学会教育推進委員会 担当理事 青柳優子
〒279-0023 千葉県浦安市高洲2-5-1 順天堂大学医療看護学部
TEL : 047-350-3051 FAX : 047-350-0654 E-mail : jsfn.edu@gmail.com

【選考及び助成の決定】

教育推進委員会において選考の上、応募から1か月以内に、応募者にメールで通知する。

【助成金の使途】

勉強会の企画・運営に必要な講師料、物品費、旅費、通信・運搬費、印刷費などを含む。

【勉強会の成果の報告】

1. 助成を受けた者は、勉強会終了後、参加人数および成果、収支決算を教育推進委員会にメールで報告する。
2. 勉強会の内容および成果は、ニュースレターに掲載する。

日本生殖看護学会 理事および監事選挙告示

選挙は、「日本生殖看護学会理事および監事の選出規程」に則って実施されます。

選挙管理委員が組織されました。次期の理事および監事選挙に関して、この選挙管理委員会が責任を持って執り行わせていただきます。

●選挙管理委員会 委員長：遊佐浩子

委員：中村 希、舩谷寛子

右記のとおり理事および監事の選挙が実施されます。

投票用紙は、各選挙人の連絡先にお送りしますので、送付される所定の用紙を使って指定の期日までに投票して下さい。

1. 選挙人および被選挙人

平成30年3月31日までに会費を納入した会員を選挙人および被選挙人としてします。

2. 選挙の実施および方法

(1)投票締め切り：平成30年5月7日(月) (当日消印有効)

(2)投票用紙送付先：

〒104-8560 東京都中央区明石町9-1 聖路加国際病院
女性総合診療部 日本生殖看護学会選挙管理委員会宛

(3)開票：平成30年5月12日(土)

理事会報告

第1回理事会

日時：2017(平成29)年12月1日(金) 18:00~20:10

場所：聖路加国際大学本館5階506室

出席者：野澤、上澤、森明、坂上、青柳、實崎、有森、崎山、清水、村本、田中(書記)

【報告事項】

1. 第15回日本生殖看護学会学術集会の事後報告。
2. 第16回日本生殖看護学会学術集会の進捗状況。
3. 理事長：日本がん・生殖医療学会学術集会に関する情報提供。
4. 広報委員会：広報委員会活動計画およびNL発行計画案。
5. 教育推進委員会：第12回生殖看護実践セミナーの事後報告と次回開催の進捗状況。

6. 編集委員会：学会誌第15巻発刊に向けた準備の進捗状況。

7. 将来検討委員会：第20回日本IVF学会学術集会の生殖看護学会パネルディスカッションの事後報告。

8. 総務：会員管理、学会年間活動計画、科学技術振興機構からの著者抄録に関する連絡の報告。

9. 会計：会計に関する覚書の説明。

【審議事項】

1. フェリングファーマ メディカルアフェアーズによる学会誌・NLへの投稿希望、セミナー協賛を承認。
2. 入会審査：8名の入会を承認。
3. 選挙管理委員3名の推薦を承認。
4. 生殖看護のテキスト企画書を出版社に提案。

事務局からのお知らせ

1. 第16回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailもしくはFaxで、気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
5. 会員数366名(平成29年8月10日現在)です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing : JSFN

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加国際大学内

TEL & FAX 03-5550-2293 E-mail : jsin@slcn.ac.jp

ホームページ <http://jsin.umin.jp>

口座番号：00170-2-333414

加入者名：日本生殖看護学会

●次号の原稿締切日

ニュースレター第50号の原稿締切日は、2018年5月22日(火)を予定しています。

◆編集後記

春の訪れが待ち遠しい時期となりました。今年の冬は記録的な寒波とそれに伴う大雪、インフルエンザの大流行にも見舞われましたが、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。日々暖くなるこの時期に体調を整え、健やかに新年度を迎えましょう！ 広報委員会 實崎美奈